

# が ん ば

報 友 会 育 小 三 島  
行 部 報 部  
発 報 部  
廣 報 部

〔第60号〕



## 落成まじかな

## 新 校 舎

## 遊べない子が増えている

育友会副会長

佐久間 ガクジ

最近、育友会の集まりなどで「遊べない子がふえている」という声をよく耳にします。

なかには「とんでもない、うちの子なんか学校から帰ってきたのもわからないように、カバンを玄関からほうりこんだまま、暗くなるまで帰ってきませんよ。」と、おっしゃる方もおられるようですが、遊び方を知らない子どもがふえているのもまた、事実だと思います。

原因はどこにあるのでしょうか？

受験戦争にそなえての家庭学習、塾通い、などで遊ぶ時間がないのでしょうか。テレビの見すぎ、ただ興味本位だけのオモチャの犯濫で外に出て遊ぶ気になれないのでしょうか。

または、遊びたくても遊ぶ場所がないのでしょうか。あれこれ考えると、きりがなくないくらいです。

夏休みの町内旅行などでも親の方で遊びを工夫してやると、どうにか遊んでいるが、自由時間を設けて、ほうり出すと、なにをして良いのか全くわからないで、そこらへんをうろろしたり、他の子が

遊んでいるのをただ、ぼんやりながめていたりする子が多いのです。

「よく学び、よく遊べ」という言葉がありますが、全くその通りだと思います。

遊びの中で協力したり、服従したり、献身したり、妥協したり、時には暴力をふるってけんかをしたり、自分の意見を主張したりしながら、豊かな心を育てているのだと思います。

よく遊べる子は、遊びの中で将来社会生活を送っていくうえで大変だいじなことを身につけているのです。また逆に、あまり遊ばない子は、おとなになつてから同僚や上役とうまくやつていけない人、すなわち社会性のない人、すなわちおそれがあります。

たとえ優等生でなくとも良いではありませんか。人間らしい愛情と、勇気と判断力をもった、心の豊かな子に育ってくれることを、親として望みたいものです。



# 新校舎落成祝賀バザー

## 開催について

育友会会長 前山 四郎

火災により焼失した木造二階建て校舎の後に市当局の手により立派な鉄筋三階建ての校舎が完成しつつあります。教室は普通教室二教室と特別教室です。懸案の便所も水洗、給食がセンター方式になった場合をかんがみ、リフトでの昇降が出来る様になっております。雨漏りがする、いやどろが降る。かたむいていゝるのではないかと云われた校舎も一月十三日(日)の火災により一瞬にして焼失しましたが、今、時代の要求を満たした校舎の全容が現わされております。

新校舎落成を記念してバザーを行い、その益金を中心として、何らかの記念事業を形づくる事を常任委員会・代議員会の承認を得て行いたいと思ひます。

学校長の了解を得て、新校舎の新しい設備内容をゆつくりごらんになりながら、バザーの出版をも楽しんでいただくたいと思ひます。又、各御家庭にねむっている品物を出品していただき、有用な物と現金が仲立ちしますが交換していただき活用していただきたいと思ひます。代議員の方を始め、育友会の皆様は大変御苦労をかけますが、校舎焼失の日も先生方、育友会の皆様の御協力で授業を一時間たりとも休む事なく、まったく平日と同様の授業が出来まし

- た。今度も育友会の皆様の手で作り手の基金を作り、校舎落成の喜びをわかちあい、記念事業を推進していききたいと思ひます。どうか御協力下さいます様お願い致します。
- 祝賀バザー開催要項
- 1 期日 昭和五十六年二月十五日(日曜日)
  - 2 場所 島原市立第三小学校体育館・新校舎
  - 3 主催 島原市立第三小学校 校育友会
  - 4 売上金 学習環境設備などにあてる
  - 5 会場運営 島三小育友会 常任委員・代議員
  - 6 収集担当 島三小育友会・町内代議員・生活指導員
  - 7 収集の対象 島三小育友会 会員および町内有志
  - 8 協賛店出品 島三小地区内の商店・会社・事業所等
  - 9 出品物
    - ① 贈答用セット・日用品 衣料品・家具・調度品・学用品・スポーツ用品・置物・陶器
    - ② 台所用品・洗剤・石けん・チリ紙・ティッシュペーパー・小間物・園芸用品・植木・盆栽・鉢植
    - ③ 農産物・海産物・鶏卵 野菜・生鮮食料品・保存食料品(のり・わかめ・缶詰・漬物・お茶)
    - ④ 清涼飲料(コーラー・

ジュース・フアンター・サイダー・コーヒー) 菓子類・果物・みそ・醬油・食用油

⑤ 「うどん」・「ぜんざい」・「すし」・「コーヒー」

⑥ 「わたがし」・「金魚すくい」等

二人の子どもが三小に通いだして十年間、今春卒業してまいり、八ヶ月が過ぎました。今ふり返つてみると、やはり育友会活動の中に席を置くことができた事が一番想い出があるようです。

その中で感じた事は、(育友会役員活動の中では、会長や担当の先生に迷惑のかけ通しでして、)一父親として、まかせになり、子どもとの会話も滞りがちですが、各先生方との対話、又学校行事等について、子どもとの会話も豊富になり、一緒になつて話し合ひの場を家庭でもつ事ができた事は、育友会活動に参加した事で何事にもかえ難い収穫であったと思ひます。

家で子どもを頭ごなしに叱るよりも、会話の中で注意をうながす事ができて、子どもの

### 永門重明

中にも素直に入つて行く事ができたと思ひます。

その間、一番のでき事は、校舎火災でありました。そして、その後の父兄の方々の團結と献身的な協力の姿をみる事ができました。その後新しい校舎も関係者の方々の熱心な働きで、まもなく完成をみる様ですが、ますます充実した教育がなされるものと期待されます。

最近の子どもの非行の低年令化の中にあつて、家庭での生活面での躾がいかに大切かが強く叫ばれております。

今後ますます学校、家庭、地域の絆を固く結ばれ、家庭・学校の連けいのカナメとしての育友会活動が発展、充実されますことを心からお祈りいたします。

※ 協賛商店・会社・事業所等の出品物はご芳名を掲げます。

10 価額、超安値(市価の三分の一・四分の一)

11 その他、出品して下さった方には、本部発行の「バザー用受領証」を渡します。



# 道徳は家庭から

学校長 江島 九 香

家庭には家庭の歴史があるという事です。みんなそれぞれ違っているのです。子供は生れた時は全く無力です。それだけに、両親の人柄、教養、愛情、家庭の道徳的水準、文化的水準、宗教的雰囲気などの影響をもろに受けるわけです。とくに大切なのは、母親の心づかいですね。

子供の親への信頼感、母親の乳房の上から始まります。スキンシップと言いますが、母親が子供と肌を接して抱きかかえるように育てることが大切です。子供にとつて、母親は絶対的存在ですね。それだけに母親は、人生の英知を学んで自分自身の道徳的教養、人間の教養を高めることが大切です。子供は模倣性に富んでいますから、母親のまねをして成長するのです。親が正義心が強く、トゲトゲしいと子供も正義心の強い子になります。親がずるい心だと子供もずるい心になります。学校教育も大切ですが、家庭教育はそれ以上に重要です。

ドイツの生んだ大哲学者カントの母は、キリスト教の強い信仰心をもった人で、食事の時、就寝の時など、常に神

に感謝の祈りを捧げたといえます。野辺を歩いている時に草花を見ても、凡て神の恵みであるとカントに教えたそうです。後にカントは「私の今日あるのは母のおかげである」といっています。

あるいはフランスの偉大な画家ミレーは、北フランスのノルマンディー地方の農家に生まれました。両親が畑へ働きに行く時は、幼いミレーを連れて行って、かごの中で遊ばせたのです。そして夕方教会の鐘がカーンカーンと鳴るような敬虔な夫婦でした。このような両親の姿を見て育ったミレーは、後に宗教的情操の深い名画を描くようになったのです。有名な「晩鐘」など世界的な宗教的名画を描かしたものは、ミレーに影響を与えた両親の信仰深い人からでありました。家庭教育といつても親が口で言っただけでなく、親自身が実行して子供に教えるのが大切です。

たとえば朝起きたら、親から「おはよう」と声をかけてやると、子供も「おはよう」と言うようになるのです。食

事の時でも「いただきます」と言っって手を合わせ感謝の気持ちを表わしてから食事をすめるのです。就寝の時でも「お休みなさい」と、親が実行して子供に見せていくと、子供も自然にそれを真似てくるのです。珍らしい物をもらった時でも、最初の一切は先祖様の霊前にお供えし、祖父母に食べて頂いて、それから子供たちと共に頂くというように、敬老の心を親自身が示していけば、子供も成長して同じことをするようになるのです。子供は親の姿を見て自然に感化されてくるのですね。親として気をつけなければならぬことは、子供に信頼を失わせるようなことをしてはならないかということ。子供との約束を破ったり、知らずに嘘を教えたりすると、子供の心は非常に傷つくものです。一番いけないのは夫婦仲が悪いことです。夫婦で年中口げんかしているようだと、子供は親を尊敬する心がなくなります。そのような家庭に育った子供は情緒が不安定で、いつか問題が起きてくるものです。家庭内の人間関係が円満で安定しておれば、家庭外で少々絡は乱されることはないのです。子供の内面にびそめてい

る心情が円満であれば放つておいても勉強します。お互い持っている生まれた不徳がありませう。それを言葉で言っって聞かせる直そうとしても直りにくいものです。どこまでも温かい「育て心」で相手の足りない所を足していく努力を続けていけば、必ず気づく時がきます。親が見離したら伸びるべきものが伸びない、良くなるものが良くならないのです。

有名作家ヘルマン・ヘッセは少年時代は非常に不安定で、何かあるとあの悪いヘッセがやっつた」と冷たい目で見られていたのです。外からイライラして帰宅します。そしてそのイライラを母親にぶつつけるのです。ところが母は、それを温かく受けとめ、慰め、勇気づけ、抱くようにして接しましたから、外でイライラしていても母の所へくるとヘッセは落ち着きを取りもどすのです。母は、いわばヘッセの吐き出すゴミを受けとるゴミ箱のような役割をしたのです。そうしているうちに、二十歳すぎ頃からだんだんとヘッセの天分が伸びてきて、後年ついにノーベル文学賞をもらうような世界的な作家になったのだといわれています。

このように子供はそれぞれ個性があり、天分があります。勉強は出来なくても、人づきあいがよい子もいます。スポーツは出来なくても、絵や文を書くのが好きな子もいます。親が一律に、学校の成績が悪いからといって、子供を駄目だと決めつけるのは間違っています。せつかにならず、大きな心で子供の天分を見て、気長くはぐくみ育ててやるのが親のつとめだと思います。「お前はダメだ、お前はいいかん、〇〇さんを見る、お父さんを見る、兄ちゃんを見る」と、子供の心を傷つける親であってはダメです。子供は、ほめて勇気を与えてやること、自信と主体性をもつ基になると思います。

家庭教育は父・母がお互いの持ち味を発揮し協力して教育することが必要です。母親の持ち味は、温かい愛情から生まれる感情の教育です。子供の願いや欲求をやさしく充足しながら育てています。父親の持ち味は社会で働く愛情から生まれる、理性の教育です。「責任」とか「公正」とか「信頼」、「誠実」、「勇氣」といった社会人に要求される資質を満たしていきま

す。この父母の持ち味が溶け合った教育によって、情理調和のとれた人間性豊かな子供に成長していくのです。

調和のとれた人間性豊かな子供に成長していくのです。

調和のとれた人間性豊かな子供に成長していくのです。

調和のとれた人間性豊かな子供に成長していくのです。

### 親として

#### 思うこと

南下川尻  
近藤 ひとみ

今年はいろいろな行事に参加する機会に恵まれ、大変有意義な年でした。その度に議論の的となるのが、子どもの非行、家出、自殺等に見られる様々な悪現象—その原因の殆んどが家庭、即ち製作担当者である私たち親者に他ならない現実を知る毎に、日常生活を見抜かれたような気がして赤面することしばしばです。

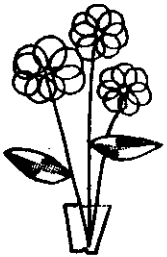
実際私たちの子ども時代比べる、物は豊富で生活も楽になったことは確かですが、果して人間的な心もそれに伴って豊かになったのか、むしろ物質社会に溺れて人間性は退化しているような気がしてなりません。

ある研修会での話、小学生がボール遊びをしていて他家のガラスを割り、その時の第一声「いくら払えばいいの

すか。」と言ったそうです。自分の過ちを詫げる前に何事もお金や物で解決してしまう金品優先の大人の世界を垣間見たような寒々とした気持ちになりました。

子どもは親の背を見て育つといわれます。私たち大人が子どもと同じ目の高さで、子どもと同じ方向を見、悩む時、気持ち子どもに接したら問題は激減するのではないかと思いますが、問題児をつくるのは問題親？なのですから。

先日町内訪問の折に校長先生のお言葉に「母親は子どもの波止場になりなさい。」という一言があり、私は心に深く印象づけられました。さすがに教育のベテラン、これ程端的に親の在り方を表現した言葉はないと感服し、私もこの名言を肝に銘じて、子ども舟主人舟がリラックスして憩われるような心の波止場になりたいと痛感している昨今です。



### 町内訪問を

#### 体験して

湊新地 一 会員

「親の知らない間に」というテーマで映画を観賞した。映画を見ての育友会の素直な感想、自分の子どものしつけの反省、それぞれの意見が飛び出しました。話の相手が、先生方なので案外正直な気持ちが出たようです。先生方の学校からの話など聞いて痛切に感じたことは、親子の断絶だけは絶対にさげねばならぬ

### 町内訪問について

桃山

秋冷の候、朝夕めっきり冷え込む気候となりました。先般代議員の方よりがんば60号に記載する原稿を書くようにと御指名を受け私なりに町内訪問について意見を述べたいと思えます。私どもの町内では、九月末に行なわれました。その内容は、非行少年の映画があり、私を感じた事は、親と子の触れ合いが非常に大切な事だと思いました。その後名札についてありましたが、学校側のいる分け方がよい

### もっと

#### 研修の場を

新山東  
福島 孝也

い。親子の会話が一番大切な事だと思ふ。今頃、中一の長男が「イエローマジックオーケストラ」の音楽に癡っている。内心ではうるさい音楽だなあと思うが「聞けばいい曲ねえ」と一緒に子どもと聞いて、少しでも子どもを理解しようとする努力している。

私達共稼ぎの家庭では、仕事も大切だとは思いますが、授業参観、懇談会など学校行事の会合にはなるだけ出席したいと心がけている。他人に迷惑をかけない素直な子どもに、成長するよう願望している。

どちらのご家庭でも子供のことに關しては、かなりの悩みや問題点をお持ちのことと思えます。そこでそれらの悩みや問題点について、先生と親、あるいは親同志の話し合い、研修の場をもっと持つようしたら如何でしょうか。その意味では町内訪問の企画は大変有意義なものだと思いますし、今後も続けてほしいと考えますが、もっと十分な時間をかけてやってほしいと思います。年に一度ぐらいは「先生と父母の集い」なるものをかけて開いていただきたいと思えます。そう言う機会を通して、親同志が、先生と親とがお互に十分意見を出し合い、話合って研修し勉強することが必要だと思えます。親も子供達に負けないように研修勉強して、子供達から尊敬され慕われる親でありたいものだと深く反省する毎日です。

若松 ハルヨ

との意見でした。上ばき体育館シューズに付ては、別しなないのではありませんかとの意見がありましたが、学校側は一応検討してみるところでした。それお母さん方の出席がほとんどでしたが、お父さん方も出席していただいて父親としての意見をだしてほしいものです。せっかく先生方との意見交流の場を設けても、仲々活発な意見が少ないようでしたので、今後議題を設け項目別に討議したらもっと意見が出るのではないでしようか。

### 三小のみなさんありがとう

坂上 松尾和子



私達は、この四月、小浜の方から三小に三男を入学させる為、島原へ引越して参りました。校舎の古いには少し驚きましたが、教頭先生が学校は古いですが、教育には自信を持っていきますと言われた言葉がとて印象に残っています。

三男は自閉症と診断されて以来小峰先生にアドバイスや力添えをいただき、三小に大きな期待をかけて参りました。あれからアツと言う間に二期が終ってしまい夢のようです。毎日、皆と一緒に登校する子供の姿を見ながら本当に良い学校を選んであげられたと喜んでます。校長先生自ら町内へ足を運ばれ懇談をされたり、先生方の教育に向ける熱意には、頭が下がる思いが致します。先日の授業参観で三男が本を読んだ後、クラスの子供達が大きな拍手をしてくれました。先生が指示されるわけではないそうですが、皆が誉めてくれるそうです。涙が出る程嬉しい思い

でした。ハンディーを持った子をそれなりに、素直に受け入れてくれる子供達の姿；そんな環境に恵まれて子供は一步一歩成長しています。この三小に希望を持って転校して来たのは私達だけではありません。

御父兄の皆様方の暖かい御理解と先生方の御指導、それに元気で伸び伸びとした子供達に恵まれて、三小に心から感謝の気持ちで一杯です。どうぞ今後共宜しくお願い致します。

### 島原雑感

佐藤麗子

子供達がこちらへ来て、早や、六カ月が過ぎ途中で学校を変って不安だった頃がうそのような毎日です。

それは、私が育った時と同じような環境だからだと思えます。雲仙岳を背にし、有明海を望み美しい川の流れるまったくすばらしいこと。今まで見て来た川は、濁ったたどぶ川のような川ばかりですの

### 家庭教育数え歌

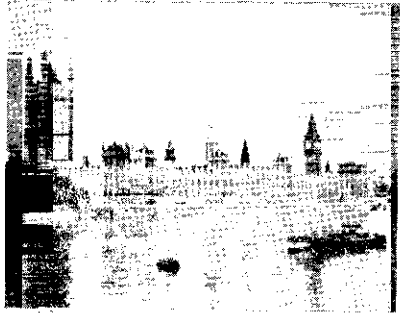


- 一つとや 人は生まれて来る前に おなかで教育はじめよう
- 二つとや 太ったよい子はよい栄養 よい脳づくりも栄養で
- 三つとや 見る物聞く事心せよ 性格づくりの三、四歳
- 四つとや 「よい子」と差し出すおもちゃでも 右と左を考えて
- 五つとや 五つ六つの子の心びっくりしたしだいです。ごわれた自然は元にはもどりません。
- それと同じように子供達をとりまく環境も、これとまったく同じになって来ている今日、ここでは関係ないと思っていたことが、都会並に押しよせて来ていることに目をつぶることはできません。
- この清い川の流れるように、決して濁らない心に育ってほしいと強く思います。
- 父に求める信と欲
- 六つとや 昔も今も大切よ 報恩 勤勉 責任感
- 七つとや 何べんだらうと根気よく シツケは手本と繰り返し
- 八つとや やっと入学一年生 すい眠 栄養 よい遊び
- 九つとや こころで心をゆるめるな 基本を培う三、四年
- 十とや 時には親子でむつまじく クイズも楽しめ五、六年
- これは「家庭と学校」のPTA新聞にのっていたものです。意味深い数え歌ではありませんが、二つ三つ内容を考えて見ましよう。
- 七つとやII 一度によいシツケをしようよと、大声でしかることなどは、すぐれた方法とは言えない、シツケはまず手本から；と、繰り返して教える根気が大切ではないでしょうか。八つとやII 「さあ学校へ行くことになった」と、喜びの

反面に強要するものは勉強だけではなく、よく眠らせ、栄養をとらせ、十分に遊ばせてやるのが親心と思います。九つとやII 小学校三、四年の子は、「遊び第一」から、「よく遊び、よく学び」へと、家庭学習指導に努力し、学習内容と、学習態度の基本を培うことが大切だと思います。十とやII 三、四年で学習態度のついた子は、五、六年ではよく勉強するが、この時期には親子の話し合いも大切；時にはクイズも交えて心の交流を；とおしえていいると思われます。

どこのご家庭でも、炊事中のお母さんの口からこの数え歌が流れ、お孫さんの守りになさるおじいさん、おばあさんの口からこの歌が流れ、仕事を終えて帰宅されたお父さんも、お子さんの顔を見るなり、いつもこの数え歌を思い起こされるなど、お役に立つことを期待しています。

(広報部)



九月十四日より十月一日まで、文部省教育海外派遣団の一員に加わり、デンマーク・ポーランド・フランス・イギリスの四カ国の教育・文化・社会等の諸事情を視察することができました。

総勢三十名で、わずか十八日間のかけ足のヨーロッパの旅でしたが、特に印象に残っていることを記して見たい。

★愛国心と平和を育てるポ  
ーランドの学校教育

ワルシャワよりバスにて四時間かかるピアリストク市の小学校、中学校を訪問した。

金髪で青い目をしたお人形さん見たいな子ども達に拍手で迎えられ、それに、心のこもった花束を全員がいただき暖かい歓

迎を受けた。

校長先生（小学校では、女性）より、「子どもの心に愛国心を養い、愛国者を育てることと、平和の大事さを教え平和を守る国民を育てる」とことが、教師の義務であり、教師の使命感であると聞かされ、それに一貫した教育の実践を参観した。

一年生より三年生までは、日本と同じように学級担任制であるが、四年生より八年生（小学校は八年生まで）まで

このように小学校、中学校を一貫して、愛国者を育てる目標にむかって取りくまれている。そのために、児童・生徒の非行はゼロだそう。

「ポーランドはこんにち、国づくりです。国づくりは人づくりです。人づくりは教育からです。市の経費の三分の一を教育費に使っています」とポーランドを去るとき市長さんの話が思い出される。

★きびしいイギリスの家庭教育

### ヨーロッパ教育研修雑感

島三小教諭 小 峰 忠与士

は、中学校なみの教科担任制で、専門の先生より、びしびし指導され、子ども達も真剣な態度で学習を受けていた。とくに歴史教育が重要視され、資料も豊富に整い、ポーランドが歩いてきた道を徹底的に教えこんでいた。

中学校の会議室には、「国家のために働くことは、義務だけでなく、道徳的にも大切なことである」としてなされていた。

中学校では技術を身につけることを重要視されていたが、

イギリスではスオンジ市の学校訪問をした。ひとりひとりを尊重し、個人の能力にあった個別指導が徹底していたが、家庭での「しつけ」も徹底していた。

道徳教育とか生活指導等、人間としての基本的しつけは学校では指導しないので、家庭で親が指導するそうです。権利に対する義務や、自由に伴う責任についてのしつけは、物心のついた時からたたき込まれるそうです。

同室の先生より聞いた話で

すが、日本人がイギリス人の家庭に下宿していた時、その子どもを可愛いがっていたら、その母親から「うちの子を甘やかさないでください」と、叱られたそうです。

幼稚園の先生の話によると子どもが小学校に入学（イギリスでは五歳）するまで、母親は子どもの教育（しつけ、道徳）に徹するために、外に働きに出ることはしないそうです。

※ 家庭における子どものしつけの大事さは日本でもさかんに言われているが、日本とはかなりの違いがあるようだ。また学校教育には、親は全くといっていい程度干渉しないし、教師も家庭や子どもの私生活に関する面にはいっさい口を出さないそうです。学校に子どもの教育のすべての面を期待する日本とは、大きな違いのようです。

★個人生活充実のヨーロッパのクラブ活動

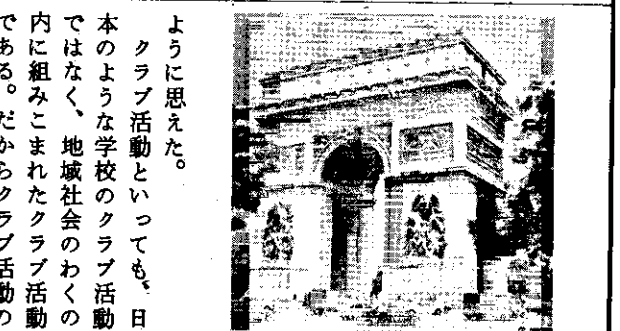
イギリスでは、子どもが三歳児になると、誕生日のプレゼントに、各家庭ともサッカーボールか、ラグビーボールが贈られるように、ヨーロッパの家庭教育の大きな柱になっているのが、クラブ活動の

よう思えた。

クラブ活動といっても、日本のような学校のクラブ活動ではなく、地域社会のわくの内に組みこまれたクラブ活動である。だからクラブ活動の単位は、あくまでも個人、あるいは家庭である。

ポーランドでは、子どもの授業は午前中でおわり、家で昼食をとり、午後は全員クラブ活動に参加するそうです。

体育・文化・音楽といろいろありますが、一人で三つも四つものクラブにはいつていません。日本でのクラブ活動は、体力・成績あるいは、技能向上という「実利」が求められるのに対して、ヨーロッパでは、あくまでも「個人生活の充実」に重点がおかれている



# 学級だより

夜おそく、先生から電話がありました。でも、何の電話かわかりません。電話のあとでぼくのデイズルカーの絵が西望賞に入せんしたことがわかりました。でもぼくは信じられないので、何回もお母さん

のを聞き感心させられた。  
ヨロッパではクラブ活動の他に「教会」も家庭教育の大きな柱になっているそうです。  
飛行機から見た北極のようす、ソ連とポーランドの国境の厳しさ、芸術の町パリ、歴史と伝統を誇りにしているロンドン等、紙面の都合で記すことができない、固い話になつてしまったことをわびたい。  
ヨーロッパの十八日間の貴重な体験を大事にし、今後の私の教育実践の場に生かしていきたいと思っています。



北村西望賞

十一月一日表しう式がありました。こんなことははじめてなきかえました。それが本当だったので、きせきだと思いました。  
十一月一日表しう式がありました。こんなことははじめてなきかえました。それが本当だったので、きせきだと思いました。  
一番にぼくの名前がよばれました。賞状とブロンズぞうをいただきました。表しうが全部おわつて西望先生といっしょに写しんをうりました。ぼくの両しんや三小の先生がたが、みんなよろこんでくださいました。ぼくは、鳥やちょうをかくことが大すきです。これからはがんばってあと二つぐらい西望賞をとりたいです。西望先生みたいに長いきして、うんとがんばりたいです。

## おめでとう 永藤君

### 西望賞をいただく

写真のような絵を書き、第二回西望賞を受け、十一月一日に賞状とブロンズ像をいただきました。これは本校にとつて大変よろこばしいことです。永藤君のよろこびのことばです。

## 西望賞ありがとう

三年二組 永藤 己佳



めてなのでドキドキしました。せきにすわりました。あたりはシーンとしていました。

## 今年も 校内年賀ハガキ 実施

島三小 児童 会

五枚十五円の校内年賀はがきの人気はたいへんよく、今年も代表委員会で実施するよう決定され、只今準備におわっている。今年紙代の値上げで、歳末助け合い基金は校内年賀はがき代の中には含まれず、別に実施することになりました。今年年賀はがきの購入最高枚数を一年生十枚、二年生二十枚……と学年が進むにつれ十枚増やし、内容の充実をいれることになりました。十二月二十三日までに書きあげ、校内をなえつつけのポストに投函し、元旦の午前十時頃に町内の部長、副部长が中心になって家庭に配達することになっています。  
なお、校内年賀はがきにも番号がうってあり、新学期早々抽選会をやり、いろいろな賞品がもらえることになっております。

## ハグサン運動実施中

※はつきりと明るいあいさつ元氣よく  
※□をむすんで静かに歩こう右側を  
※さあやろう力をあわせてきれいにそうじ

学校において、子どもたちは、この三つのことを目標に、毎日とりにくんでいます。家庭におきましても協力をお願いします。  
「あいさつ」  
一年二組 すぎも けい  
ぼくは、学校からかえるとちゅうで、きんじょのおばちゃんに  
「こんにちば。」といった  
おばちゃん「おひささんね。」といいました。  
ぼくは、からだがかるくなつたようなきもちで、はしつて、おうちにかえりました。かえつてからも、きもちがよくて、おかあさんのおてつだいを、いっぱいしました。  
(十一月意見発表会より)

# 盛会だった育友会町内訪問

## 「さびしかった父親の出席」

育友会事務局 小峰 忠与 士

員で六十九名とはさびしいこととです。教育は母親まかせではいけないのです、各町内より、父親の出席を望む声が出ていました。

### ★出席者四百三十七名

生活部と教養部の主催に、学校側が同伴して実施した町内訪問、二十三日間の長い日数であったが、各町内より、「年に一回ぐらいは、こがん会はよかよ」

「先生、来年もまたしゅうで」「校長先生と、ひざまじえて話たこちゃ、うまれてはじめて楽しかった」

等の声を聞くことができ、昨年以上に有意義な会でありました。

特に、学校側と町内、学校側と会員の皆様とのつながりが深まり、学校教育により高い関心を持ってもらったことは、高く評価してよいのではないでしようか。

出席状況は次表のようで、四百三十七名の出席で、昨年度を大幅に上回っています。このことは、学校教育や育友会活動に会員の皆様の関心が高まったあらわれではないかと思えます。

ただ残念なことには、父親の出席が少ないことです。全

### 55年度 島三小 育友会町内訪問出席状況

月日	曜	町内	場所	参加人数	備考
8.21	木	中組	高見宅	14名	男子 3名
22	金	栄町	白山公民館	20名	男子 2名
23	土	湊新地	白山公民館	10名	男子 0名
26	火	蛭子鼻・南風泊	蛭子鼻教会	17名	男子 4名
28	木	浦田船津上	浦田保育園	21名	男子 2名
29	金	八幡坂下	第三小学校	8名	男子 1名
9. 3	火	浦田船津下	中山宅	20名	男子 1名
4	木	新山東	第二中学校	40名	男子 8名
5	金	新山西	下の湯	15名	男子 3名
6	土	白土船津下	児童館	17名	男子 1名
9	火	崩山町	池田宅	17名	男子 3名
10	水	下川尻	下川尻公民館	23名	男子 1名
10. 2	木	緑町	小島宅	18名	男子 1名
3	金	白土船津上	小川宅	11名	男子 3名
4	土	霊南	片山宅	39名	男子 6名
6	月	坂上	林田宅	26名	男子 10名
7	火	桃山	児童館	13名	男子 3名
8	水	蛭子町	浦田保育園	17名	男子 8名
13	月	津町	宝屋	13名	男子 6名
14	火	広馬場	白山公民館	15名	男子 0名
15	水	川尻	酒井宅	15名	男子 1名
20	月	元舟津有馬船津	松下宅	22名	男子 2名
21	火	南下川尻	南下川尻公民館	26名	男子 0名
合 計				437名	69名

### ★主な懇談内容

- 一、家庭における子どもの教育、しつけについて
- 二、家庭のはたらき
- 三、親子のふれあいの大切さ
- 四、物を大切にしない
- 五、整理整頓が悪い
- 六、親の物の与えすぎ
- 七、がまんする力がない
- 八、親の過保護・過干渉
- 九、非行について
- 十、塾の功罪について
- 十一、テレビ視聴について

### ★主な要望事項

- 一、育友会に対して
- 二、夏休みに実施する行事が多すぎる
- 三、親子フットベースボールは、非常に有意義であった
- 四、親子ソフトボールはできないだろうか
- 五、ソフトボールの練習時間や練習方法に問題があるよう
- 六、合併町内に問題が多い
- 七、文化的な行事も考えてほしい
- 八、交通補導の講習会をしてほしい
- 九、体育館使用時間をのばしてほしい
- 十、子供の遊び場がない、どうにかならないだろうか
- 十一、夏休み前に泳げない子の



指導をしてほしい

・「他人の子も叱る運動」  
真剣にとりくむ必要がある

※ その他、たくさんの要望事項がありすが、各専門部で検討してもらおうようにしています。

二、学校側に対して

- ・施設、設備について
- ・行事について
- ・学習関係について
- ・生活指導について
- ・その他

※ 貴重など意見ご要望は、職員会で話し合い、十分に対処していきます。

★町内訪問録

・子どもなしの育友会はありません、子どもの幸を願う育友会である。(浦田船津下)

・親が子を知らない、子が親を知らない。(浦田船津下)

・家庭とはふれあいの場である、家庭にしかないものを、子供にしたらせることが大切である。(新山東)  
・お父さんのおい、お母さんのおいを大切にしたい。(新山東)

・家庭では勉強よりも、親子のふれあいである。(霊南)

・ふれあいは、寝ている子どものふうたん(ほほ)に、ふつくとふくれたほ

かほかのまんじゅうを、「もう起きれや」と、ぺたっとふつつけてくれた、おふくろのなんでもない行為  
・子どもは親のうしろ姿を見て育つ

・親の言うことは聞かないが、親の言動はよく見ている。(白土船津下)

・親が子供の生活を知るために、毎日、子供のくらしのようすを聞く習慣をつけることだ。(坂上)

・子どもは、しかられることを待っている。(坂上)  
・しつけは学校で、学習は家庭と塾で、おかしなことだ。(緑町)

・やって見せ、そして何回もやらせ、よいところをほめよ。(元舟津)

・百点さええとれば、悪いことをしても許す母親がふえている。(南下川尻)

・情・理の教育が、家庭では大切である。(南下川尻)  
・母親は子どもの波止場になりなさい。(南下川尻)



パン工場見学

保健給食部部長

山口 ヤス子

給食についてのアンケートに多い意見に「パンを小さくてもいいから味の方をどうかしてほしい」ということで、二期期はパン工場見学をして給食パンについて聞いて参りました。

給食用パンについては、県の給食会という所から原材料、配合の割合など指定されて、指示通りやれば改良が難しいとのことでした。粉については、小麦の皮と実の中間位の

各専門部の動き

十月二十三日、三年生の授業参観に、引き続き保健給食部と合同で稲田整形外科院長先生を講師として「背椎彎曲症及び骨折について」の講演会を行いました。

背椎彎曲症は、小学生高学年よりかかりやすく、女の子の背の高い人に多く家庭内で風呂等で見つけやすく、気が付いたらすぐ治療する事、予防として、運動する事、特に水泳が良い、骨折は、最近の子どもはよく骨を折ります。

有意義だった講演会

学級部 古井久輝

所の粉で色が黒く手ざわりも市販品用と比較してみました。良くありませんでした。生地にする砂糖、バター配合も市販品の約半分位の割合で基準も低くしてあります。カサりの面から行くくと、あの大さきのパンが絶対必要量として役をなしているか、疑問に思えます。それから、もう一つオートメ化された工場では焼くのも計器にたよって、パンの出来、不出来の差がその日により、あるように感じました。

百三十名あまりのお母さん方の出席があり、いろいろたくさん質問があり、それについて、解りやすく答えて下さいました。有意義な講演会だったと思います。  
可愛い子どものも、このような講演会には、是非出席してお話を聞いて下さい。又、本年と来年度にかけて三小は、道徳研究校に成っております。  
これに関係して、十一月二十六日、授業参観のあとが、教養部と合同で江島校長先生の「道徳について」の講演

会を実施致しました。

会員の手で

環境整備

環境部部長

高 原 寿 一



いよいよ、待望の校舎も十二月中に完成される様で誠に御同慶にたえません。

さて此の度、市当局より予算を頂き、体育用具等の塗装を計画し、第一回目を十月十六日実施致しました。

環境部を中心に育友会会長さんを始め役員の方々、学校側より校長先生を先頭に教職員の皆様、多数御参加いただき有難うございました。

まず岩石園附近の棚から実を落とすことになりましたが、錆落しや、錆止め塗り等、何分にも素人の集団、最初の中はスローペースでしたが、なれるにしたがってピッチも上がり、予定通り午前中の作業を終りました。午後は雨になり教室の戸敷を塗って一回目の作業を終了しました。

### 喜ばれた親子

#### フットベースボール

体育部部长 山下利秋

夏休みから、二学期の始めにかけて、ほとんどの行事をすませた体育部では、一段落という感じですが。

球技大会、バレーボール大会、親子フットベースボール大会等、盛会のうちに無事終えることが出来ました事は、会長をはじめ体育部の方々、会員各位の深い御協力によるものと感謝致しております。

先日生活部と教養部によりまず巡回町内懇談会の反省会がありました、その中で、

#### 町内巡視・町内懇談会を終えて

生活部部长

夏休み中の夜の巡視と、町内懇談会は学校、教養部、生活部その他関係各位のご尽力のおかげで有意義のうちに終わりました。

夜の巡視は危険場所や非行の巣となりやすい場所を六日間、にわたり、チェックしました。非行の巣は空き家・藪・お寺等、想像も出来ない所におりました。特に空き家の多いことには驚きました。家主さんには、ぜひ鍵をとりつけられるようにお願いします。

町内懇談会は映画を中心に学校側と専門部から子どもの生

各町内の意見がのべられていて、体育部につながる意見としましては、球技大会の練習場所の問題点、練習時間の不満が最も多く皆様の御期待にそうよくな配慮が十分に出来ませず深く反省しております。

親子フットベースボール大会は、どこの町内でも喜ばれていくようです。会員各位の皆様、今後ともよろしく御協力の程お願い申し上げます。

以上、この町内でも喜ばれていくようです。

片山千代薫

活の実態などが報告されました。ほとんどの町内で懇談の中心になったのは、子どもが物を大事にしなくなつたことについてでした。親が子どもに物を与え過ぎていること。子どもの日常の躾を徹底してや

っていないこと。親がしてやがっていること。など多くの問題点があげられてきました。子どもが、自分の子に対する親の態度と躾にかかわっているようです。

### 交通安全から子どもを守る

交通部副部长

矢加部 みち子

交通部では、年間計画をたて部活動を進めてまいりました。毎月五日の交通安全指導。運動会時の交通安全整理、自転車の点検、通学路の交通安全整理についてのアンケート等、その中で、自転車の点検について

の当日の様子をお知らせします。七月十九日土曜日、三年生以上の児童が対象になり、八時、児童と一緒に登校し、自転車運動場に並べました。

先生方をはじめ自転車店、他部の部長、部員の方々の協力により、重大事故につながるブレーキ、ライト、ベル、カギ等を重点的に点検してもらいました。

もちこまれた三五二台は十一時前にすべて点検を終了。その内、不良台数一三〇台(ライト不良五四台、その他七六台)にのぼりました。

四〇〇台以上は所有されていまして、多数の未点検車があつたのは残念でした。

この頃よく見かけるのが自転車二人乗り、信号無視、禁止されている国道での乗車

他人の子をしかる運動も活

#### 講演会に思う

教養部副部长

岩崎 暁子

先日学校部と教養部の共催で、「道徳は家庭から」の演題で、講演会を催しました。

約二百名余りの出席で、校長先生の島原弁をまじえたユニモアたっぷり話しぶり、それに会員の方からいただいたみかんを食べながらのなごやかな一時間でした。

校長先生の「健康な体に子どもも育つ、人間尊重がたいせつ」等、家庭教育の目標や教育の主体者は両親である。毎日大人の働く姿、生きざまを子どもは見ている。子育てとは、自分を育てることだ。との話を聞いて、私自身とても反省しています。色々と勉強になるお話ばかりです。

講演会がすんだ後、ある人が「講演会には、機会ある事に出席せんばいけんね。一度に全部を身につけることは無理で話を聞くたびに何か一つ身になるからね」と話してくれました。

せざるを得ないでしょう。手本になるべき世の親やまた学校関係者からしてまだ交通安全を甘くみているのではないでしようか。今年には幸にまだ、大きな事故はおきていませんが、今後おおいに自己反省して、交通安全から子ども達を守っていきましよう。

#### 編集後記



六〇号をお届けします。会員の皆さんの意見や感想等をなるべく数多くの紙面に反映させようと、町内代議員さんを通じて会員の方々の御投稿をお願いしましたところ、たくさんのお原稿をいただきました。ありがとうございます。

紙面の都合で最小限にカットさせて頂いた箇所があるかと思ひますが御了承をお願いします。企画、編集に充分意をつくせなかつた点もたくさんあつたと思ひます。部員一同

たと思ひます。部員一同